

8 誤って踏んでも壊れない踏込み消毒槽用凍結防止ヒーター

キーワード	踏込み消毒、凍結防止、破損防止
担当	新冠牧場 衛生課
連絡先	電話：0146-46-2011 ファックス：0146-46-2565 電子メール：nlbc_niikappu@nlbc.go.jp

1 背景・ねらい

寒冷地では、冬季における踏込み消毒槽の消毒薬が凍結してしまいます。このため、牧場によっては踏込み消毒薬が石灰に限定されており、防疫徹底が困難となっています。

最近では、市販の水槽用ヒーターを踏込み消毒槽に入れることによって凍結防止を図り、冬季であっても液体の消毒薬を使用されているケースが見られます。しかし、水槽用ヒーターは、誤って踏んで破損する危険性が高く、かなり注意を必要とします。

そこで、破損防止のカバーを鉄管や銅管を加工して作製し、水槽用ヒーターに装着する工夫を考案しました。

2 内容・特徴・効果

使用する水槽用ヒーターは、ペットショップや量販店で1500円前後で売られている棒状の普及品で十分です。

作成方法は、次のとおりです。

- ① 先ず、購入した棒状の水槽用ヒーターの太さに応じて、適当な口径の鉄管又は銅管を準備します。
- ② 準備した鉄管又は銅管は、ヒーターの長さよりも若干長めに切断します。
- ③ 鉄管又は銅管に数ヶ所切込みを入れます。
- ④ 鉄管又は銅管の中に水槽用ヒーターを挿入し、抜けないようにビニルテープで端を固定します。

使用する際は、液体の消毒薬を入れた踏み込み消毒槽にヒーターを沈め、電源につなぐだけです。

ただし、空焚きにならないように注意してください。



写真1 材料と完成品

右は市販の水槽用ヒーター
中央は銅管で作製したカバーを装着したヒーター
左は鉄管で作製したカバーを装着したヒーター



写真2 使用中のヒーター

北海道では極端に寒い日の朝に表面が凍ることもありますが、
使用には問題ありません。